

.....

館園名 : 新居関所史料館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1976年11月03日

所在地

- ・ 〒431-0302 静岡県浜名郡新居町新居 1227-5

公式サイト

- ・ arai-sekisyo@yacht.ocn.ne.jp

設立主体

- ・ 新居町

運営主体

- ・ 新居町

設立目的

- ・

展示概要

- ・ 県指定有形文化財の新居関所関係資料をはじめ、旅道具、道中記等の交通資料のほか、浮世絵版画などを収蔵。
- ・ 常設展示は、「街道と関所」「海の関所新居」「旅と宿場」の3つのテーマにより構成。

活動概要

- ・ 特別展・企画展、講演会を開催。
- ・ 図録などを刊行。

延床面積

- ・ 543.22 m²

全職員数

- ・ 4名（専任2名、兼務2名）

年間運営費

- ・ 16,000千円

総資料点数

- ・ 約3,000点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：新居宿史跡案内人の会

活動目的・経緯

- ・ 2002年、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 32名（2004年）
- ・ 男性：13名、女性：19名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性61歳、女性60歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育委員会 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示解説・案内

活動その他

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。
- ・ 町の助成金、200,000円。
- ・ 予定カレンダーに、ボランティアが個々に記入して活動する。
- ・ 不定期に募集。4月の総会で、会員に任命する。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ ボランティア相互で先進地研修、勉強会を実施。
- ・ 研修参加者に、活動費の一部を支給。
- ・ 窓口でのガイドを希望する人が増えている。
- ・ 会員を増やし、全日対応できるようにしたい。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①展示解説・案内

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 32 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 関所・紀伊国屋でのガイド。

◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 法被の貸与
- ・ 町の助成金、200,000 円。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 予定カレンダーに、ボランティアが個々に記入して活動する。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 不定期に募集。4 月の総会で、会員に任命する。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ ボランティア相互で先進地研修、勉強会を実施。
- ・ 研修参加者に、活動費の一部を支給。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・ 窓口でのガイドを希望する人が増えている。

◇課題と展望

- ・ 会員を増やし、全日対応できるようにしたい。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 磐田市旧見付学校

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1953年09月25日

所在地

・〒438-0086 静岡県磐田市見付 2452

公式サイト

・<http://>

設立主体

・磐田市

運営主体

・磐田市教育委員会文化財課

設立目的

・郷土資料、教育資料、民俗資料に関する資料を広く市民に公開するため。

展示概要

・幕末～戦後にかけての学校教育資料、郷土の歴史・民俗に関する資料の展示。

活動概要

・博物館相当施設として、郷土に関係ある歴史、とりわけ教育に関する資料を中心に収集・整理・保存・調査し、これを展示して広く市民の利用に供している。

延床面積

・682 m²

全職員数（常勤職員）

・4名（平成16年12月現在）

年間運営費

・10,740,000円（2003年度）

総資料点数

・約5,000点（16年12月現在）

施設その他

・明治8年に建築された旧小学校校舎を展示施設として利用しているため、施設の修繕等を年次行っている。

2. ボランティア活動 名称：旧見付学校ボランティア

活動目的・経緯

- ・平成9年に地域における生涯学習活動を展開することを目的にスタート。当初は行楽シーズンや当館が要請したときに展示解説を行うボランティア組織であったが、現在はイベント時の補助作業中心の活動となっている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 14名（16年12月現在）
- ・ 男性：2名、女性：12名
- ・ 平均年齢69歳：男性70歳、女性68歳

ボランティア担当職員（16年12月現在）

- ・ 部局名称：磐田市教育委員会文化財課
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説。
- ・ イベント時の補助作業。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館による運営。ボランティアの代表が館の要請を受け人員を用意してくれる。
※H17よりボランティア組織を再編して、展示解説を中心とした活動を展開していく予定である。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：①イベント時の補助作業

◇活動開始年（西暦）

- ・1996年

◇活動人数

- ・14名（16年12月現在）

◇活動内容

- ・8月に開催する明治の授業体験事業において、参加児童がかすりの着物に着替えるときの手伝いを行っている。

◇活動日

- ・8月の第1・第3土曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・昼食代を出している。

◇運営（シフト 等）

- ・ボランティア代表が人員を用意。1回につき4～5名。

◇交流（情報、組織 等）

- ・特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・募集していない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・なし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ボランティア保険の加入、食費のみ支給。

◇評価

- ・年間活動が少ないため、H17より組織を再編する予定。

◇課題と展望

- ・組織再編後は研修会等を開催し、ボランティアを養成していく。ボランティア募集は市の広報で呼びかける。

◇その他

- ・ボランティアが展示解説できるよう館の情報・資料等を積極的に提供して行きたい。

館園名 : MOA 美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1982 年 01 月 11 日

所在地

- ・ 〒413-8511 静岡県熱海市桃山町 26-2

公式サイト

- ・ <http://www.moaart.or.jp>

設立主体

- ・

運営主体

- ・ 財団法人エム・オー・エー美術・文化財団

設立目的

- ・ 優れた芸術を通して人心の教化、文化の向上とその拡大を願い、日本および東洋の美術品の蒐集・公開につとめた創立者岡田茂吉の示した事業を展開するため、1957 年熱海美術館として開館。

展示概要

- ・ 国宝 3 点、重要文化財 65 点をふくむ絵画、書跡、彫刻、工芸など各分野にわたる東洋美術を中心とし、西洋絵画および彫刻などを含む約 3,500 点を収蔵。

活動概要

- ・ 特別展、企画展、国内外における美術展、定期演能会、薪能、伝統芸能鑑賞会、音楽会、MOA 岡田茂吉賞、MOA 美術館児童作品展などを開催。

延床面積

- ・ 13,898 m²

全職員数

- ・ 87 名

年間運営費

- ・

総資料点数

- ・ 約 3,500 点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：アートボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1982年、開館に合わせて活動開始。
- ・ 各地域における美術情報の提供者として、また美術活動の実践者となることを願い、館においてお客様の受け入れ、案内を通して、美術の学びを深めて頂くことを目的とする。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 671名（2004年）
- ・ 男性：121名、女性：550名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：総務課 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①案内業務、②茶室業務、③説明員業務。

活動その他

- ・ 館により運営。担当者が毎日、ボランティアのミーティングを司会し、その日の学びの確認や質問に答えている。
- ・ 毎年7月、または9月に、全ボランティアを対象とした研修会を実施。
- ・ 毎年8月に、新規ボランティアの申し込みの受付、併せて継続申し込みの受付を行う。
- ・ 毎年10月に、応募者に対して研修を行う。年内の実習を経て、翌1月より正式なボランティアとして登録し、活動して頂く。
- ・ 職員食堂で昼食を支給しているが、交通費等その他経費は自費。
- ・ 遠隔地からのボランティアに対しては、財団の宿泊施設を特別割引料金にて利用できる。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①案内業務

◇活動開始年

- ・ 1982年

◇活動人数

- ・ 563名(2004年)

◇活動内容

- ・ 能楽堂、黄金の茶室展示室、各展示室における監視・案内業務。
- ・ 入口カウンターでのチケットもぎり、および案内。エスカレーター通路の踊り場、円形ホールにおける監視・案内業務。

◇活動日

- ・ 休館日を除く毎日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ 朝夕のボランティアミーティングにも使用する休憩室があり、出仕するボランティアが利用できるロッカーも用意されている。
- ・ 所蔵の各種図録、美術資料も備え付けられており、休憩時間に閲覧することが出来る。

◇運営(シフト等)

- ・ その日の出仕人数により、展示室およびエスカレーター通路の着任場所を指定し、昼食休憩を除き1時間単位で各着任場所を交代するローテーションで着任して頂く。終了時にミーティングを行っている。

◇交流(情報、組織等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ ボランティアの任期は1年。毎年8月に、新規ボランティアの申し込みの受付、併せて継続申し込みの受付を行う。

◇研修(種類、内容、講師等)

- ・ 新規のボランティア申請者を対象に、10月に研修を行い、年内に実習を行う。
- ・ 毎年7月、または9月に、全ボランティアを対象とした研修会を実施。2期から3期に分けて行い、講師は美術館の部課長および学芸員が担当している。

◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ 職員食堂で昼食を支給しているが、交通費等その他経費は自費。
- ・ 遠隔地からのボランティアに対しては、財団の宿泊施設を特別割引料金にて利用できる。

◇評価

◇課題と展望

◇その他

活動個別シート ②茶室業務

◇活動開始年

- ・ 1982 年

◇活動人数

- ・ 39 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 茶苑内の茶室・一白庵において、来館者への呈茶の補助。
- ・ 茶苑内の各茶室や、光琳屋敷の清掃。

◇活動日

- ・ 休館日を除く毎日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 朝夕のボランティアミーティングにも使用する休憩室があり、出仕するボランティアが使用できるロッカーも用意されている。
- ・ 所蔵の各種図録、美術資料も備え付けられており、休憩時間に閲覧することが出来る。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 1 日の出仕人数を 2~3 名とし、その費の出仕人数により、案内業務として展示室に着任して頂くこともある。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ボランティアの任期は 1 年。毎年 8 月に、新規ボランティアの申し込みの受付、併せて継続申し込みの受付を行う。
- ・ 茶室業務は案内業務を 1 年以上の経験したボランティアとしている。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 毎年 7 月、または 9 月に、全ボランティアを対象とした研修会を実施。2 期から 3 期に分けて行い、講師は美術館の部課長および学芸員が担当している。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 職員食堂で昼食を支給しているが、交通費等その他経費は自費。
- ・ 遠隔地からのボランティアに対しては、財団の宿泊施設を特別割引料金にて利用できる。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

活動個別シート ③説明員業務

◇活動開始年

- ・ 1984年

◇活動人数

- ・ 69名(2004年)

◇活動内容

- ・ 来館者の希望により、エスカレーター入口よりエスカレーター通路、ムア広場、能楽堂、黄金の茶室、茶苑等、展示室までの説明ガイドを行う。

◇活動日

- ・ 休館日を除く毎日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 朝夕のボランティアミーティングにも使用する休憩室があり、出仕するボランティアが使用できるロッカーも用意されている。
- ・ 所蔵の各種図録、美術資料も備え付けられており、休憩時間に閲覧することが出来る。

◇運営(シフト 等)

- ・ その日の出仕人数により、案内業務について頂くこともある。

◇交流(情報、組織 等)

・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ボランティアの任期は1年。毎年8月に、新規ボランティアの申し込みの受付、併せて継続申し込みの受付を行う。
- ・ 説明員は案内業務を2年以上経験したボランティアとしている。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 毎年7月、または9月に、全ボランティアを対象とした研修会を実施。2期から3期に分けて行い、講師は美術館の部課長および学芸員が担当している。
- ・ 新規で説明員の申し込みをしたボランティアを対象に、毎年10月に研修、年内に実習を行い、1月より説明員としての業務をして頂く。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 職員食堂で昼食を支給しているが、交通費等その他経費は自費。
- ・ 遠隔地からのボランティアに対しては、財団の宿泊施設を特別割引料金にて利用できる。

◇評価

◇課題と展望

◇その他

.....

館園名 : 静岡アートギャラリー

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1997年05月21日

所在地

・〒422-8067 静岡県静岡市南町18番1号 サウスポット静岡3階

公式サイト

・<http://www.art.shizuoka-city.or.jp/>

設立主体

・静岡市

運営主体

・(財)静岡市文化振興財団

設立目的

・市民の芸術文化の向上の為、設置された。

展示概要

・収蔵品を持たないので、常設展はなし。

活動概要

- ・ジャンルにとらわれない様々なアートを紹介。
- ・美術講演会、ワークショップ、ミュージアム教室などを実施。
- ・図録を発行。

延床面積

・1,536.10 m²

全職員数（常勤職員）

・8名（平成17年1月現在）

年間運営費

・134,857,000円（2003年度）

総資料点数

・67点（平成17年1月現在）

施設その他

・指定管理者制度を視野に入れつつ、検討中。

2. ボランティア活動 名称：ブルーノ・ムナーリ展

活動目的・経緯

- ・(アシスタントとして活動してもらった。2003年度)
- 2003年5月「アートと遊ぼう」(アシスタント3人)
- 2003年5月「木をつくろう」(アシスタント1人)
- 2003年6月「アートと遊ぼう」「ぼくもわたしもあーていすと」(アシスタント25人)

活動人数(総数、男女比、年齢構成)

- ・ 29名(2003年実績)
- ・ 男性:2名、女性:27名
- ・ 平均年齢21歳:男性21歳、女性21歳

ボランティア担当職員(年 月現在)

- ・ 部局名称:
- ・ 担当人数:常勤職員 名・その他() 名

特別担当が決まっているわけではない。

活動の種類(種類別にご記入願います)

- ・ ワークショップ補助。
- ・
- ・
- ・

活動その他(活動全体に関わる特記事項など)

- ・ 実施した内容をサイクルマネジメント(P-D-S)のSとしてチェック、検証し、実績として公表していくことが重要であるとする。
- ・ 現在実施中のものを単発で終わらせるのではなく、一貫した方針の下継続していくことが「力になる」と考える。

関連する出版物

- ・ なし。

関連するHP

- ・ [http:// www.art.shizuoka-city.or.jp/](http://www.art.shizuoka-city.or.jp/)

館外組織(NPO等)との連携(館内ボランティア以外での連携など)

- ・ なし

.....

館園名 : 静岡県立美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1986年04月00日

所在地

- ・ 〒422-8002 静岡県静岡市谷田 53-2

公式サイト

- ・ <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/>

設立主体

- ・ 静岡県

運営主体

- ・ 静岡県

設立目的

- ・ 広く県内外の人々に優れた美術品を展示公開する場、創作活動の場として設立。

展示概要

- ・ 17世紀以降の東西の風景表現をコレクションの柱とし、日本画、日本洋画、西洋絵画、版画など、2,300点余の作品を収蔵。県内ゆかりの美術にも目を配る。
- ・ 常設展示は、毎月展示替えがされている。

活動概要

- ・ 企画展を年4~5回開催。

延床面積

- ・ 3,024.36 m²

全職員数

- ・ 21名（非常勤嘱託員、および臨時事務員等を除く）

年間運営費

・

総資料点数

- ・ 2,318点（2004年4月現在）

その他

・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 1986年4月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 66名（2004年） ※登録は300名程度
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①ギャラリートーク、②資料整理グループ、③パソコン入力チーム、④タッチ・ツアー・ガイド

活動その他

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①ギャラリートーク

◇活動開始年

- ・ 1986年

◇活動人数

- ・ 22名(2004年)

◇活動内容

- ・ 収蔵品展、企画展の作品解説。

◇活動日

- ・ 収蔵品展は、毎月第2、4土曜日。
- ・ 企画展は、その都度設定。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 研修や勉強会は、講座室を使用。

◇運営(シフト 等)

- ・ 全年度末に、年間のシフトを決定。
- ・ 企画展については、その都度設定。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 毎月の第1木曜日に、月例会を開く。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 前年度末に、ボランティア全体の中から、希望者を募集。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 毎月1回研修を行う(リハーサル)。
- ・ 必要に応じて、学芸員がレクチャー。
- ・ 自主研究を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 勉強のために当館の展覧会を見学するのは無料扱い。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動メンバーが固定化している。

◇その他

- ・

活動個別シート ②資料整理グループ

◇活動開始年

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 10名(2005年)

◇活動内容

- ・ ハガキ、DMを分類、ファイルする。
- ・ 新聞記事を整理分類し、ファイルする。

◇活動日

- ・ 第2、第4月曜日(新聞)。
- ・ 第3月曜日(ハガキ)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ 情報発信センター、図書閲覧室、ボランティア室等で活動。
- ・ 文房具、消耗品を支給。
- ・ キャビネットあり。

◇運営(シフト等)

- ・ 活動日に、新聞班、ハガキ班、それぞれ分かれて活動。

◇交流(情報、組織等)

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 人が減ったら募集。応募者が多すぎることはないので、選考はなし。
- ・ 人数、任期に制限なし。

◇研修(種類、内容、講師等)

◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 開館以来、継続している点で評価できるが、時代に合った活動へと切り替える時期にきている。

◇課題と展望

- ・ 昨今は新聞社でデータベース化され保管されているため、新聞記事を整理する必然性が、活動を開始した18年前に比べ、大幅に薄れてきている。そのため、来年度以降は、新聞記事の切り抜く項目を、県内美術関連に絞り、ファイルを図書閲覧室に開架し、利用してもらうようにする。
- ・ ハガキのファイルについても、ただファイル化だけの活動にとどまらず、蓄積したファイルを活用できるようにしていく必要がある。

◇その他

活動個別シート ③パソコン入力チーム

◇活動開始年

- ・ 1990年

◇活動人数

- ・ 7名(2004年)

◇活動内容

- ・ 発送先リストの入力(終了)。
- ・ 館蔵品データの入力(終了)。
- ・ 蔵書データの入力。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営(シフト 等)

- ・ 学芸課と入力チームとで運営。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 連絡ノートにより、情報交換。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 不定期

◇研修(種類、内容、講師 等)

・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

・

◇評価

- ・ とても丁寧にやったださっている。その分、ペースは期待できない。

◇課題と展望

- ・ 継続させていくことが第一の目標である。

◇その他

・

活動個別シート ④タッチ・ツアー・ガイド

◇活動開始年

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 19名(2004年)

◇活動内容

- ・ 視覚障害者2～3人にメンバー2～3人がついて、彫刻作品の鑑賞の手助けをする。

◇活動日

- ・ 申し込みのあった日に活動する。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営(シフト 等)

- ・ 19人を4グループに分け、連絡網を作成(ただし、活動はこのグループによるものではない)。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ボランティアのうち、興味のあるメンバーが自主的に研修に参加する。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 学芸員が、①作品に触れて鑑賞、②作品・作家に対する知識、③障害のある方との対話交流についての研修を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 無償。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 静岡市立登呂博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1972年04月01日

所在地

- ・ 〒422-8033 静岡県静岡市登呂5-10-5

公式サイト

- ・ <http://www.city.shizuoka.shizuoka.jp/deps/kyouiku/torohaku/index.htm>

設立主体

- ・ 静岡市

運営主体

- ・ 静岡市教育委員会

設立目的

- ・ 国の特別史跡登呂遺跡の整備を充実させるため、静岡考古館を発展的に閉館し、新たに建設。

展示概要

- ・ 弥生時代の農耕集落、および登呂遺跡をテーマとして展示を展開している。
- ・ 第1展示室は、入館者が「登呂のむら」という舞台に入り、くらしに用いた道具を手にとつて登呂人を演じる参加体験型展示。

活動概要

- ・ 体験型展示による教育普及を中心とした博物館業務を展開している。

延床面積

- ・ 1,850.87 m²

全職員数

- ・ 8名

年間運営費

・

総資料点数

- ・ 考古資料約4,000点、民俗資料約5,500点

その他

・

2. ボランティア活動 名称：登呂博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1995年4月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 33名（2004年）
- ・ 男性：13名、女性：20名（2004年）
- ・ 平均年齢60歳：男性66歳、女性57歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：社会教育課 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示ガイド。

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①展示ガイド

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 33 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 博物館第一展示室内の体験型展示において、体験指導員の補助として、来館者に体験学習の指導や声かけを行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 参加は 1 回 3 時間を 1 単位とする (午前 9:30~12:30・午後 12:30~15:30)。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 打合せ会を年 4 回実施 (「四季の会」として)。うち 1 回は他施設見学、年度末は総会とする。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 9 月頃から広報原稿提出。次年度の募集は 11 月初から 12 月上旬。
- ・ 10 名ほど募集。
- ・ 任期 1 年 (継続者も再申請)。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 新規応募者に対して 6 回の研修を実施 (職員が講師となる)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 保険に加入。
- ・ 参加 3 時間を 1 単位として、交通費相当の謝金 (400 円) あり。

◇評価

- ・ 開館日のほとんどに数人は参加し、来館者に対応をしている。

◇課題と展望

- ・ 参加日数が多くなると、謝金を圧迫し、年度末には参加を調整している。

◇その他

・

.....

館園名 : 静岡市立日本平動物園

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1969年08月01日

所在地

- ・ 〒422-8005 静岡県静岡市池田 1767-6

公式サイト

- ・ <http://www.nhdzoo.jp>

設立主体

- ・ 静岡市

運営主体

- ・ 静岡市

設立目的

- ・ 市制 80 周年記念事業として開園。

展示概要

- ・ 飼育動物 187 種 702 点 : 哺乳類 66 種 333 点、鳥類 80 種 260 点、爬虫類 40 種 108 点、両生類 1 種 1 点。

活動概要

- ・ 「ZOOしずおか」の出版。
- ・ 春の動物園まつり、秋の動物園まつり、サマースクール、クイズラリーを開催。

延床面積

- ・ 約 10ha (施設面積)

全職員数

- ・ 約 80 人

年間運営費

- ・ 約 800,000 千円

総資料点数

- ・ 約 187 種 702 点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：日本平動物園ガイドボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1999年4月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 96名（2004年）
- ・ 男性：43名、女性：53名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：管理課 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①スポットガイド、②ツアーガイド、③ふれあい補助。

活動その他

- ・ ボランティアルームあり。
- ・ 切手、封筒、消耗品、ガイド用小物を支給。
- ・ ボランティアから選任されたコーディネーターと呼ばれる役員によって運営。
- ・ 連絡紙を月1回発行。
- ・ 全体会議を月1回実施。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 初期メンバーを対象とした研修あり。
- ・ 入園、駐車無料。
- ・ 保険に加入。
- ・ 毎年、個人単位で、活動日数等に応じて表彰。
- ・ 班ごとに活動時間を集計。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①スポットガイド

◇活動開始年

- ・ 1999年

◇活動人数

- ・ 約30名(2004年) ※延べ活動時間は375時間(2003年)

◇活動内容

- ・ トラ、ゾウなど、7種の動物ごとにガイドを行う。

◇活動日

- ・ 第1、第3日曜。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア全体として、ボランティアルームがある。
- ・ 切手、封筒(通信用)他、消耗品、ガイド用小道具。

◇運営(シフト 等)

- ・ 動物ごとに担当者を配置。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ ガイドボランティアとして一体。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 原則として春と秋に募集。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 自主的に実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 入園、駐車は無料。
- ・ 保険は園が担当。

◇評価

- ・ 個人単位で活動日数等に応じて表彰(毎年)。
- ・ 班ごとに活動時間を集計。

◇課題と展望

- ・ 活動人員、および活動日数の拡大が課題。

◇その他

- ・

活動個別シート ②ツアーガイド

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 13 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 主に学校団体を対象とした予約制ツアーガイド。

◇活動日

- ・ 平日 (火・金曜日が中心)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア全体として、ボランティアルームがある。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 火曜 (7 人)、金曜 (6 人) のグループがあり、お互いに応援しながら活動。
- ・ 月例ミーティングで活動人数を調整。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月例ミーティングあり。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年 1 回、広報せずおかにて 10 人ほど募集。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 約 20 週の研修を、園で行う。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 入園、駐車の無料。
- ・ 保険は園が担当。

◇評価

- ・ 個人単位で活動日数等に応じて表彰 (毎年)。
- ・ 班ごとに活動時間を集計。

◇課題と展望

- ・ 現在、水曜班の研修を実施中。来年度、木曜班ができれば、平日をカバーできる。実施回数
の増加を目指したい。

◇その他

- ・

活動個別シート ③ふれあい補助

◇活動開始年

- ・ 2000年

◇活動人数

- ・ 約80名(2004年)

◇活動内容

- ・ ウサギ、ヒヨコのふれあい補助など。

◇活動日

- ・ 土・日・祝日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア全体として、ボランティアルームがある。

◇運営(シフト 等)

- ・ リーダー3人が中心になって運営。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 原則として春と秋に募集。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ ボランティア相互で実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 入園、駐車無料。
- ・ 保険は園が担当。

◇評価

- ・ 個人単位で活動日数等に応じて表彰(毎年)。
- ・ 班ごとに活動時間を集計。

◇課題と展望

- ・ ローターションの強化など、組織づくりを進めて行く必要がある。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 東海大学海洋科学博物館

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1970 年 05 月 02 日

所在地

・ 〒424 - 8620 静岡県静岡市清水三保 2389

公式サイト

・ <http://www.scu.u-tokai.ac.jp/sectu/welcome.html>

設立主体

・ 学校法人東海大学

運営主体

・ 学校法人東海大学

設立目的

・ 本学海洋学部の教育研究に利用するとともに、海洋科学に関する知識を広く一般市民に啓蒙普及することを目的としている。

展示概要

・ 水族館と、海に関する総合的な博物館から構成される。水生生物と、それに関する資料を収集。

活動概要

- ・ 博物館としての展示、教育普及、資料の収集、保管など。
- ・ 海洋に関する生物や科学など、テーマを絞ったの特別展・企画展を開催。
- ・ 学校団体を大正とした体験学習やスクール、一般を対象にしたセミナーなどを実施。
- ・ 海洋学部との共同研究や卒業研究生の指導。
- ・ 年報、研究報告、機関紙などを発行。

延床面積

・ 6,379.18 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 26 名 (2005 年 1 月現在)

年間運営費

・ 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 16,000 点 (2004 年 4 月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：学生ボランティア制度

活動目的・経緯

・2002年以前より、当館において各種行事等を実施する際に海洋学部の学生を対象にその都度募集をしていたが、当年より正式に学生ボランティア制度として立ち上げた。主な目的は、幼児を対象とした教育活動。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 33 名（ 2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 17 名、女性： 16 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 総合業務室総務課、学芸文化室学芸課、海洋学部学生相談室
- ・ 担当人数：常勤職員 5 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ キッズミュージアムの運営。
- ・ 各種行事の運営補助。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 東海大学海洋学部在籍する学生（1～4年生）。
- ・ 館により運営。ただし、活動を円滑に行うためボランティアの中から代表者を1名選出、連絡網を作成し、代表者がボランティア全体の連絡や取りまとめを行っている。
- ・ 月に一度、ミーティングを行う。

関連する出版物

- ・ 東海大学社会教育センター年報

関連するHP

- ・ <http://www.umi.muse-tokai.jp/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート① 活動名：キッズミュージアム

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 33 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・キッズミュージアムの運営。幼児を対象として海の生き物をモデルとした折り紙やこすり絵、ぬり絵などを指導する。

◇活動日

- ・土、日、祭日（春・夏休みの期間は除く）の 10 時から 16 時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・運営にかかる経費については博物館で負担。
- ・研究室の一室を控え室として使用。

◇運営（シフト 等）

- ・ボランティアが中心となっており、博物館がそれをサポートする。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・東海大学海洋学部在籍する 1・2 年生を対象とし、海洋学部内の掲示板に募集要項を掲示。
- ・任期は半年間（4～9 月、10～3 月で募集はその一ヶ月前から）で継続は可能。
- ・月に三回程度のボランティア活動ができることを条件とする。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ボランティアへの登録は、以下の項目を終了したものとする。
 1. 活動内容についての説明会：一時間
 2. ボランティア講習四時間（①館内組織説明②館内案内③活動にあたっての心得④実施トレーニング）

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ボランティア活動は原則として無償。
- ・傷害保険に加入。
- ・ユニホーム・ネームプレートの貸与（暖期：T シャツ、寒期：ジャンパー）。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・将来的には、海の生き物を扱ったタッチプールなどの活動も博物館スタッフと協同で企画していきたい。

◇その他

・

.....
館園名 : 東海道広重美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1994年09月25日

所在地

- ・ 〒421-3103 静岡県庵原郡由比町由比 297-1 由比本陣公園内

公式サイト

- ・ <http://www.yuicho.jp/>

設立主体

- ・ 由比町

運営主体

- ・ 由比町

設立目的

- ・ 本陣公園のメイン施設として建設。

展示概要

- ・ 歌川広重を中心とした浮世絵版画 1,200 余点を収蔵。

活動概要

- ・

延床面積

- ・ 1,341.05 m²

全職員数

- ・ 2人

年間運営費

- ・ 47,000 千円 (2003 年)

総資料点数

- ・ 12,000 点

その他

- ・ 施設を、2004 年に一部リニューアル。

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 1994年9月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 23名（2004年）
- ・ 男性：3名、女性：20名（2004年）
- ・ 平均年齢61歳：男性61歳、女性62歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：企画観光課 担当人数：常勤 1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①館内案内、②資料整理。

活動その他

- ・ 毎日活動（休館日を除く）
- ・ ボランティア室あり。
- ・ 館により運営。
- ・ 不定期に一般公募。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 館が研修を実施。
- ・ 活動内容が監視のみとなっており、館の基本方針を含め、全般的な見直しが必要である。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①館内案内

◇活動開始年

- ・ 2005 年

◇活動人数

- ・ 10 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 館内展示案内。
- ・ 作品解説。

◇活動日

- ・ 不定。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 図書あり。

◇運営 (シフト 等)

- ・ アンケート実施し、現在方法を検討中。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 月 1 回、職員を交えて研修会。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 保険に加入 (館が負担)。
- ・ 昼食を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 現在試行錯誤の状態であるが、基礎的な資料とパソコン等の備品等が不足している。

◇その他

- ・

活動個別シート ②資料整理

◇活動開始年

- ・ 2005 年

◇活動人数

- ・ 12 名 (2005 年 4 月)

◇活動内容

- ・ 現在検討中。
- ・ 当面は、所蔵図書の分類整理。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 一部、消耗品を支給。

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ ボランティア室が狭い。
- ・ 必要備品が足りない。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 浜松科学館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1986年05月01日

所在地

- ・ 〒430-0923 静岡県浜松市北寺島町256-3

公式サイト

- ・ <http://www.hamamatsu-kagakukan.jp>

設立主体

- ・ 浜松市

運営主体

- ・ 財団法人浜松市文化協会

設立目的

- ・ 子どもの科学する心を育てることを目的として開館。

展示概要

- ・ 自然、宇宙、光、力、音、エレクトロニクスの各テーマで展示構成。
- ・ 遠州地方の自然、市内企業からの展示協力など、地域の特色が色濃く出ているのが特徴。

活動概要

- ・ 参加体験型の展示物を主体に設置しており、来館者が遊んだり、操作したりする中で科学の原理・原則が理解できるようになっている。
- ・ もの作りのまち浜松らしく、展示品の3分の1が地元企業の協力を得て作られている。
- ・ 土日曜日には、子ども対象の講座を開講。

延床面積

- ・ 6,892㎡

全職員数

- ・ 23名

年間運営費

- ・ 224,555,100円

総資料点数

- ・ 148点（参加体験型展示品）

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：浜松市科学館ジュニアボランティア、
浜松市科学館シニアボランティア

活動目的・経緯

・

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 131名（2004年）
- ・ 男性：88名、女性：43名（2004年）
- ・ 平均年齢 28歳：男性 33歳、女性 21歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：事業係 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①科学館ボランティア、②科学館教室・講座ボランティア。

活動その他

- ・ 館により運営。
- ・ 年に3回、連絡会を実施し、活動の様子を伝えたり、ボランティアの方々の意見の交流を図ったりしている。
- ・ 当初、菅野イベントの補助的な活動が主であったが、「自分たちで企画したイベントを自分たちで運営したい」という声があり、昨年度より「ボランティア自主企画イベント」と題して、土日の菅野イベントが入っていない日を使って、来館者へのサービスを実施している。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 交通費を実費で支給。
- ・ 1日の活動の場合は、昼食を支給。
- ・ ヤマハ発動機のエンジニアの方々が39名ボランティア登録をしている。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①科学館ボランティア

◇活動開始年

- ・ 年 ※詳しい資料が残っていないので分かりませんが、10年以上前からあるそうです。

◇活動人数

- ・ 131名（2004年）

◇活動内容

- ・ 科学館職員が企画したイベントの補助。
- ・ ボランティア自ら企画したブースの開設（ボランティア自主企画イベントと称する）。

◇活動日

- ・ 土、日、学校休業日（主に科学館のイベントが実施されている日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティアの昼食代として年間15万円、旅費として29万円を計上している。

◇運営（シフト 等）

- ・ 学期ごとに、ボランティア活動希望日の調査を行い、事務局が1人2、3回の活動が入るように調整。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティア連絡会を年に3回実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年、1月から、市の広報紙とHP、科学館だよりを通じて公募。任期制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 中学生ボランティア研修会を年に1回、ボランティア連絡会を年に3回実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（費用は館で負担）。
- ・ 交通費を実費で支給。
- ・ 1日の活動の場合は、昼食を支給。

◇評価

- ・ ボランティア参加回数や、自主企画イベントへの関わり方によるグレード制（上級、中級、初級）を本年度末より導入する予定。

◇課題と展望

- ・ 現在の主流は、中学生を中心としたジュニアボランティアであるため、シニアボランティアの充実を計りたい。また、その運営方法について検討したい。

◇その他

- ・

活動個別シート ②科学館教室・講座ボランティア

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 10 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 土、日に行う「子ども講座」(ものづくりの講座、理科講座)の講師や講師補助。

◇活動日

- ・ 講座開催日の中で、ボランティアの希望する日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティアの昼食代として年間 15 万円、旅費として 29 万円を計上している。

◇運営(シフト 等)

- ・ 教職員の方で多忙な方が多いため、書面と電話連絡にて進めている。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年度末に、地域の小中学校教職員に広く募集をかける。
- ・ 任期なし。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ ボランティアの専門・特技を活かして頂いている。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入(費用は館で負担)。
- ・ 交通費を実費で支給。
- ・ 1日の活動の場合は、昼食を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 広く募っているにも関わらず、希望者が少ない。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 浜松市楽器博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1995年04月09日

所在地

- ・ 〒430-7790 静岡県浜松市板屋町108-1

公式サイト

- ・ <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gakki/>

設立主体

- ・ 浜松市

運営主体

- ・ 財団法人浜松市文化振興財団（平成17年4月1日～）

設立目的

- ・ 浜松市の掲げる「音楽文化都市構想」の一環として開設。「楽器のむこうに世界が見える」をキャッチフレーズに、楽器を通して「人間」と「文化」を考えることを目的としている。

展示概要

- ・ 日本の楽器約300点、ヨーロッパの楽器約1560点、アジアの楽器約580点、アフリカの楽器230点、その他の地域の楽器約370点を収蔵。
- ・ ヨーロッパの楽器、アジア・アフリカの楽器、日本の楽器を常設。

活動概要

- ・ 特別展、企画展、レクチャーコンサート、講座、体験学習、セミナー、見学会、ミュージアムサロンなどを開催。

延床面積

- ・ 4,110 m²

全職員数

- ・ 10名

年間運営費

- ・ 95,401千円（管理運営費72,210千円、事業費23,191千円）（平成16年度予算）

総資料点数

- ・ 3,211点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：浜松市楽器博物館ボランティア プラタナス

活動目的・経緯

- ・ 市民に開かれた博物館事業を推進するとともに、市民の生涯学習を支援することを目的として、2000年に設立。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 32名（平成17年3月現在）
- ・ 男性： 3名、女性： 29名（平成17年3月現在）
- ・ 平均年齢45歳：男性53歳、女性44歳（平成17年3月現在）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：楽器博物館 担当人数：常勤1名

活動の種類

- ・ ①教育・普及活動の支援、②資料整理の支援、③出版物発送の支援、④案内・誘導。

活動その他

- ・ 個人の都合に合わせる。展示室内に関しては、土・日・祝などを中心をお願いしている。
- ・ コンサートや講座当日には受付等をお願いしている。
- ・ ボランティア室・名札・手袋等を用意。
- ・ ボランティアのための予算はなし。
- ・ 毎月博物館側で活動予定表を作成し各人に郵送、その活動表の中より各人が希望する業務について博物館に申し込む。
- ・ 新規のボランティアには研修会を年1回、また継続のボランティアには連絡会を年2回程度開催しボランティア同士の親睦・交流をはかる。
- ・ 「広報はままつ」にて新規ボランティアの募集を行う（高校生以上）。平成16年度は15名程度の募集に対し3名が応募。研修会に参加した後正式に採用。活動任期は年度末まで。以後1年ごとに更新の手続きをして継続する。
- ・ 博物館職員がおこなう。博物館の業務内容やボランティアにやっただいての業務等を講義。継続ボランティアにも協力いただき活動報告をしてもらうこともある。
- ・ 継続ボランティアの連絡会では各人の活動報告ならびに反省点・改善点・博物館に望むことなどを発表してもらい、以後のボランティア活動に反映させている。
- ・ 交通費・食費の支給はなし。保険は博物館負担で契約。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ なし

館外組織（NPO等）との連携

- ・ なし

.....

館園名 : 浜松市動物園

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1959 年 11 月 01 日

所在地

・ 〒 431 - 1209 静岡県浜松市館山寺町 199

公式サイト

・ <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamazoo/>

設立主体

・ 浜松市

運営主体

・ 浜松市

設立目的

・ 市民の憩いの場として、館山寺公園内に設立。

展示概要

・ 動物の展示。特にサルとキジの種類が多い。ダチョウの飼育、繁殖、ゴールデンライオンの飼育などに重点がおかれている。

活動概要

・ 動物の展示。「動物ふれあい広場」では、ウサギやヤギと触れ合うことができる。他、「こんちゅう館」、レストハウスなど。

・ 日曜日には「動物園ウラ側探検」「動物ふれあい教室」など、各種イベントを開催。

延床面積（※敷地面積）

・ 146,000 m²

全職員数（常勤職員）

・ 34 名（ 2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 円（2003 年度）

総資料点数

・ 531 点（ 2004 年 12 月現在）

施設その他

・ 平成 15 年度に、だれでも安心して利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮した。

2. ボランティア活動 名称：NPO 法人浜松市動物園協会ボランティア

活動目的・経緯

・浜松市同打つ円における入園者サービスの向上と教育文化活動の充実のために浜松市動物園および NPO 法人浜松市動物園協会が行うイベント作業を効果的に実施するため。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 73 名（ 16 年 12 月現在）
- ・ 男性： 7 名、女性： 66 名
- ・ 平均年齢 17 歳：男性 23 歳、女性 16 歳

ボランティア担当職員（ 16 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 浜松市公園緑地部動物園
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 1 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ イベント補助。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・ 年間誌「やわらぎ」。

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート① 活動名：イベントボランティア活動

◇活動開始年（西暦）

- ・2000 年

◇活動人数

- ・ 73 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ イベント等の補助。

◇活動日

- ・ イベント開催日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ スタッフ用被服、動物園の所有するものの貸し出し。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年三回以上の打ち合わせ。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 協会が発行する機関紙、市が発行する広報誌、動物園協会子供会卒業生に対し募集（随時）。
- ・ 選考、面接あり。任期は一年（三月末日まで）。人数制限なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 動物園職員によるイベント補助要領や動物に関する基礎知識等。
- ・ 動物飼育実習。他園への研修。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費は、公共交通機関を利用した場合補助。保険加入。ニューイヤーフエスティバルのときのみ、食費を負担。イベント支援以外でも無料で入園。スタッフヤードに入所可能。

◇評価

- ・ 動物に対する研究熱心な方が多い。

◇課題と展望

- ・ イベントボランティアとは別に、ガイドボランティアを育成したい。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 浜松市博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1979年04月01日

所在地

- ・ 〒432-8018 静岡県浜松市蛸塚 422-1

公式サイト

- ・ <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/>

設立主体

- ・ 浜松市

運営主体

- ・ 浜松市

設立目的

- ・ 浜松という地域の歴史文化が形成されてきたようすを、市民が目で見ながら学習し、新しい文化を創造していく場としての博物館とする。

展示概要

- ・ 常設展示は浜松の歴史文化の流れを現代から近代まで 5 つのゾーンに分けて紹介している。主な展示としてはナウマン象の骨格、縄文人の墓、蛸塚遺跡の貝塚、伊場遺跡出土「古代文字資料」がある。

活動概要

- ・ 「展示活動」常設展示の他特別展（年1回）テーマ展（年4回）。
- ・ そのほか、学校移動博物館（年7校程度）子供向け体験講座（月1回）、市民向け講座などを行っている。

延床面積

- ・ 3,198 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 17名（2004年4月現在）

年間運営費

- ・ 209,310,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 125,498点（2004年4月現在）

施設その他

- ・ 常設展示室、特別展示室、講座室、収蔵庫、保存処置室、資料研究室他。
- ・ その他分館として、伊場遺跡資料館。
- ・ 蛸塚遺跡（昭和34年5月13日、国指定遺跡）

2. ボランティア活動 名称:しじみの会、青山家文書を読む会・鈴木家文書を読む会、 蜷塚の森を探索しよう

活動目的・経緯

- ・ しじみの会は、博物館の主催する考古学の学習会を修了した参加者有志が、学習の継続を意図して結成。博物館の諸事業に協力いただき、博物館は必要に応じて助言する。
- ・ 古文書を読む会は、博物館の主催する古文書学習会を修了した参加者有志が、学習の継続を意図して結成。旧浜松城主関連文書を読む団体と市内の地方文書を読む団体の2団体が成立。古文書を読みくだし、活字化をはかる。
- ・ 蜷塚の森を探索しようは、11月3日、文化の日の博物館と蜷塚公園の開放に向け、様々な市民向けイベントの企画と実施に短期のボランティアを毎年募集して行う活動である。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 71名（2004年4月現在）
- ・ 男性：45名、女性：26名
- ・ 平均年齢62.5歳：男性62歳、女性63歳
※上記は、しじみの会および古文書を読む会の合計。
※なお上記に加えて、蜷塚の森を探索しようの活動には35名が参加（2004年11月現在）。

ボランティア担当職員（2004年4月現在）

- ・ 部局名称：事業活動グループ
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ）名
※ただし、蜷塚の森を探索しようの活動には、常勤職員2名・非常勤職員2名が担当する。

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ① 史跡の調査、体験学習への協力等（しじみの会）
- ② 古文書の解説（青山家文書を読む会、鈴木家文書を読む会）
- ③ 蜷塚公園のイベント企画、運営（蜷塚の森を探索しよう）

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

関連する出版物

- ・ 当館出版物にてしじみの会を紹介。

関連するHP

- ・ <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/>
※浜松市博物館のホームページ。

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①史跡の調査、体験学習への協力等（しじみの会）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1993年

◇活動人数

- ・ 41名（2004年4月現在）
- ・ 男性：25名、女性：16名 平均年齢60歳：男性59歳、女性61歳

◇活動内容

- ・ 実験考古学の検証。
- ・ 市内外の史跡の調査。
- ・ 博物館体験学習への協力。
- ・ 市内の古墳の測量。
- ・ 縄文衣服の再現、成果発表。
- ・ 夏休み子ども体験館への参画。企画立案、準備、来館者への対応・指導。
（1995年より開始。7月下旬から8月末までの土・日・祝。参加者20名<2004年度>。）

◇活動日

- ・ 定例会 毎月第3日曜日。ほか随時。博物館体験行事へも参加。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 体験器材の提供、休憩室の提供。

◇運営（シフト 等）

- ・ 自主活動。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 自主活動。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 当館刊行物での紹介、参加募集。新学習会の開催により、修了者の合流を期待。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 当館学芸員による展示・事業解説。ほか自主研修。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・ 夏休み子ども体験館への参画は10年目となり、定着している。

◇課題と展望

- ・ 夏休み子ども体験館への参画においては、メニューの開発、参加者数の拡大。

◇その他

活動個別シート 活動名：②古文書の解説（青山家文書を読む会、鈴木家文書を読む会）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 30 名（ 2004 年 4 月現在）
- ・ 男性：20 名、女性：10 名 平均年齢 65 歳：男性 65 歳、女性 65 歳

◇活動内容

- ・ 館蔵古文書の解説。

◇活動日

- ・ 定例会を毎月 1 回行う。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 古文書テキストの作成。会場の提供。

◇運営（シフト 等）

- ・ 自主運営。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 毎月定例会を行う。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 当館広報紙に掲載。古文書学習会修了者の合流を期待。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 難読文字、時代背景について助言。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ とくになし。

◇評価

- ・ 館蔵の古文書について、ひととおりの書き下し、データ化が早い段階で期待できる。
- ・ 歴史学習・地域史研究としての古文書読解能力者の館周辺への集積。

◇課題と展望

- ・ 集大成した古文書の活字化、公開。

◇その他

活動個別シート 活動名：③蜷塚公園のイベント企画、運営（蜷塚の森を探索しよう）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 35 名（2004 年 11 月現在）
- ・ 男性：20 名、女性：15 名 平均年齢 40 歳：男性 45 歳、女性 35 歳

◇活動内容

- ・ 企画の立案、準備。
- ・ 縄文時代集落の再現。
- ・ 江戸時代民家の再現。
- ・ 公園内樹木の観察。

◇活動日

- ・ 11 月 3 日とその前月中。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 随時交替。
- ・ 当館職員とボランティアで公園内のイベントを運営。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ しじみの会などと交流。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報による。9 月中に募集、説明会により希望分野を撰択。
- ・ 11 月 3 日をもって解散。次年度も公募。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 説明会、企画会議。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・ 2003 年は雨天のため、準備するも低調。
- ・ 2004 年は晴天に恵まれ、多数の来客をむかえて成功する。

◇課題と展望

- ・ 2005 年以降、行事としての定着をめざす。

◇その他

.....

館園名 : 浜松市美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1971年07月01日

所在地

- ・ 〒430-0947 静岡県浜松市松城町100番地の1

公式サイト

- ・ <http://www.gity.hamanatsu.shizuoka.jp/artmuse/index.htm>

設立主体

- ・ 浜松市

運営主体

- ・ 浜松市

設立目的

- ・ 市制60周年を記念し開館した。芸術文化向上に資するための諸行事を行う他、展覧会を通じた美術振興を図る。

展示概要

- ・ 館蔵品による常設展示、国内外のすぐれた美術を紹介する企画・特別展を開く。
又、版画公募展を3年毎に開催し、美術界の活性化を目指している。

活動概要

- ・ 常設展年6～7回、企画・特別展2～3回。
絵画公募不定期、版画公募3年毎、教育普及活動、映画会、ミュージアムコンサート。

延床面積

- ・ 2466.29 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 7名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 124,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 3504件（2004年4月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 普及活動の企画で子供ガラス絵教室を開催している。
その際に市内の中学生、高校生に数人ボランティアとして参加していただいている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年 4月現在）

- ・ 部局名称：浜松市美術館
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ （その都度 先生に依頼し応募者をつのっている）。
- ・ 子供ガラス絵教室等。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

.....

館園名 : 藤枝市郷土博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1987年11月02日

所在地

- ・ 〒426-0014 静岡県藤枝市若王子 500

公式サイト

- ・ <http://>

設立主体

- ・ 藤枝市

運営主体

- ・ 藤枝市

設立目的

- ・ 郷土の歴史と文化に触れることによって現代を考え、また未来に向けて新しい文化を創造するため。

展示概要

- ・ 郷土の歴史を原始から近現代まで紹介する「常設展示」。
- ・ 年間テーマに沿って6～7回開催する「特別展」・「企画展」・「小展示」。

活動概要

- ・ 特別展・企画展・小展示の開催（年6～7回）。
- ・ 体験学習・イベント・講座・講演会の開催。
- ・ 博物館資料の収集・整理・保管。
- ・ 図録、年報、解説書等の発行。
- ・ 文化財の発掘・調査・管理。
- ・ 市史編さん事業と市史の発行。

延床面積

- ・ 2,319 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 13名（2005年01月現在） ※うち博物館運営に関わるのは館長・管理係の6名

年間運営費

- ・ 25,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 18,950点（2005年01月現在）

施設その他

- ・ 博物館附属施設として①国指定史跡志太郎郡衙跡（+志太郎郡衙資料館）、②史跡田中城下屋敷がある。
- ・ 博物館に隣接して、文学館の建設計画が進行中である。

2. ボランティア活動 名称：博物館ボランティア、田中城史跡案内ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 博物館ボランティアは、博物館活動のいっそうの充実と来館者へのサービス向上を通して開かれた博物館づくりを目指すことを目的とし、あわせて地域の生涯学習の進展や地域文化の向上に貢献する。
- ・ 田中城史跡案内ボランティアは、志太の要害、文武の中心として古来から名声の高い田中城及びその周辺の歴史を学び、歴史認識を深めるボランティアとして積極的に活動をし、会員相互の親睦と郷土の発展に寄与する事を目的とする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 32名（2005年01月現在）
- ・ 男性：22名、女性：10名
- ・ 平均年齢65.5歳：男性68.5歳、女性62.5歳

ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：郷土博物館管理係
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 0名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 博物館ボランティアは、常設展示の案内説明。イベント・講座への協力。講演会。
- ・ 田中城史跡案内ボランティアは、田中城の歴史と史跡案内、田中城及びその周辺の歴史研究。史跡の保存・整備・清掃。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

関連する出版物

- ・ とくになし

関連するHP

- ・ とくになし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ とくになし

活動個別シート 活動名：①常設展示「藤枝の歴史」案内解説（博物館ボランティア）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004年4月

◇活動人数

- ・ 18名（2005年01月現在）
- ・ 男性：9名、女性：9名 平均年齢60歳：男性65歳、女性55歳 50～60才代

◇活動内容

- ・ 常設展の展示開催を行う。

◇活動日

- ・ 土曜、日曜、祝日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ とくになし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 3班に分かれ、1日2名程度で待機して来館者に案内・解説を行う。
（半日入れかえ）
- ・ 代表・班長・会計を置き自主的に活動する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年2回ほど自主的な集まりを行っている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 初回ボランティアは広報にて募集した。今後の新規募集予定なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 博物館学芸員によるボランティア養成講座10回（2003年度実施済み）。
- ・ 近隣史跡・博物館への視察研修 年1～2回。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 郷土歴史を分かりやすく説明してくれると来館者に好評である。
- ・ ボランティア説明をする人、しない人の差が生じている。

◇その他

- ・ なし

活動個別シート 活動名：②田中城史跡案内（田中城史跡案内ボランティア）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004年

◇活動人数

- ・ 14名（2005年01月現在）
- ・ 男性：13名、女性：1名 平均年齢72歳：男性72歳、女性70歳

◇活動内容

- ・ 田中城の歴史と史跡案内。田中城及びその周辺の歴史研究。史跡の保存・整備・清掃。
- ・ 田中城史跡散策コースを設定して、平成14～15年度で史跡標柱と説明板の設置を行った。
- ・ 博物館要請にもとづきグループ見学者を対象に田中城跡の史跡ガイドを行っている。また春、秋2回、田中城跡歴史ウォーキングを参加者を広報で募って開催している。（平成16年度4月25日、11月28日）。

◇活動日

- ・ 要請がある度に随時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 資料のコピー。

◇運営（シフト 等）

- ・ 3班に分かれ、希望者（都合のつく人）2名1組で案内を行う。
- ・ 会長1名・副会長1名・会計1名を置いての自主グループ運営。
- ・ 毎月第3火曜日に定例会議を開催し、必要に応じて臨時会議を開催する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 定例会議を毎月第3火曜日に開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 平成16年度は新規ボランティアを広報にて募集（19名応募あり）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 田中城史跡案内ボランティア養成講座 7回。
- ・ 田中城史跡歴史ウォーキング 年2回。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している（自己負担）。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 会員の高齢化が進み退会も増えたため、新規ボランティアを公募したい。

◇その他

.....

館園名 : 富士市立博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1981年04月25日 分館(富士市立歴史民俗資料館)1994年11月16日

所在地

・ 〒417-0061 静岡県富士市伝法 66-2

公式サイト

・ <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/sisetu/hakubutukan/index.html>

設立主体

・ 富士市

運営主体

・ 富士市

設立目的

- ・ 郷土の貴重な文化遺産を収集し、保存展示することによって、郷土の歩みをみつめ文化の向上をはかり、より豊かな生活の創造を目指し、高まりつつある教育文化に対する市民要求にこたえる。

展示概要

- ・ 「本館」：富士山南麓に生きた先人の歴史や文化について、年代順に展示。また、富士市の地場産業である「製紙」について展示。
- ・ 「分館」：富士市内の生業について民俗資料を中心に展示。また、くらしの道具を実際に使える体験コーナーを設置。

活動概要

- ・ 郷土の歴史、民俗等に関する企画展、小展示、寄贈品展等を開催。
- ・ 陶芸教室、型染教室、手すき和紙体験、機織体験などの体験教室と、博物館講座、博物館ゼミナール等を実施。

延床面積

・ 1,734 m²(本館) 1,665 m²(分館)

全職員数（常勤職員）

・ 12名（2004年12月現在）

年間運営費

・ 62,680,000円（2003年度） ※正規職員7人人件費を除く

総資料点数

・ 31,589点（2004年03月現在）

施設その他

- ・ 施設の老朽化が進み、リニューアルを検討中である。また、耐震工事が必要である。

2. ボランティア活動 名称：博物館ゼミナール

活動目的・経緯

- ・ 2003年11月～2004年3月 博物館ゼミナール(ボランティアガイド育成講座)6回を開催。
- ・ 博物館ではボランティアガイドの必要性を感じ、その育成のため3年計画で博物館ゼミナールを開催。2003年が第1回となる。その終了生を対象としてボランティアガイド(友の会)を結成したい。

活動人数(総数、男女比、年齢構成)

- ・ 名(年 月現在)
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員(2004年12月現在)

- ・ 部局名称：教育委員会文化振興課博物館ゼミナール担当
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他() 名

活動の種類(種類別にご記入願います)

- ・
- ・
- ・
- ・

活動その他(活動全体に関わる特記事項など)

- ・

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織(NPO等)との連携(館内ボランティア以外での連携など)

- ・

.....

館園名 : 細江町立姫街道歴史民俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1980年08月05日

所在地

・〒431-1305 静岡県引佐郡細江町気賀1015-1

公式サイト

・<http://>

設立主体

・静岡県引佐郡細江町

運営主体

・細江町教育委員会

設立目的

・教会教育法に基づき、教育、学術及び郷土文化の向上を図るために設置され、民俗文化財、歴史資料等の収集保存、公開・展示を行う。

展示概要

・常設展示は細江町の歴史民俗の中でも大きな四つのテーマ「浜名湖の囲目網漁」「琉球蘭栽培と畳表生産」「銅鐸」「姫街道」を中心に展示している。この他に企画展を年数回開催している。

活動概要

・常設展示、特別企画展の他に次のような活動を行っている。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 歴史民俗資料館講座（講座ごとに募集） | 2. 調査研究員講座（年1度の募集） |
| 3. 資料館友の会—児童・生徒（年間） | 4. いぐさ会（年間） |

延床面積

・613.4 m²

全職員数（常勤職員）

・2名（2004年12月現在）

年間運営費

・11,000,000 円（2003年度）

総資料点数

・5,691点（2004年12月現在）

施設その他

・屋外展示—静岡県指定有形民俗文化財 旧山瀬家のコヤ（産屋）

2. ボランティア活動 名称：説明ボランティアいぐさ会、資料館友の会

活動目的・経緯

- ・資料館設立の理念と意義に基づき、ボランティア活動を通じて資料館事業の推進に参加し、利用者と共に学び自己の実現を図り、細江町の文化を創造する活動により、資料館の運営の充実を図ることを目的とする。
- ・1996・1997年 説明ボランティア講座開設 ・1997年 資料館運営委員会で承認を受ける。
- ・1997年 同規約作成 ・1998.4.11 設立総会、活動開始

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 15名（2004年12月現在）
- ・ 男性：12名、女性：3名
- ・ 平均年齢49歳：男性52歳、女性45歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：社会教育課
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 館内説明。
- ・ 友の会活動の指導。
- ・ 見学案内（館内・外の文化財等の説明）。
- ・ 古文書整理。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 定例連絡会月1回、合わせて古文書の学習会実施。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①説明ボランティアいぐさ会

◇活動開始年（西暦）

- ・1998年

◇活動人数

- ・8名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・入館者に対する案内と説明。
月1回の学習会。

◇活動日

- ・月の最終土曜日。
予約入館者への案内と説明（要望による）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・会議室の提供、年1回の研修旅行の交通と昼食。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・年1回研修視察旅行（日帰り）

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・なし。

◇評価

- ・自立した組織活動になっていない。

◇課題と展望

- ・館職員の援助指導不足。 ・全員の自主活動不足。

◇その他

- ・市町村合併により、大きな組織の中での活動となるので自立と拡大発展を段階的に実践したい。

活動個別シート 活動名：②資料館友の会

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 7 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 体験学習活動の計画、立案、指導。

◇活動日

- ・ 年 5 回友の会活動時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年 1 回研修視察旅行（日帰り）

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・ 年間、郷土を愛する子供を育て、文化財を大切に、世代間の文化の伝承を實踐し、平成 13 年剣教育委員会表彰を受け、さらに継続している。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 焼津市歴史民俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1985年06月28日

所在地

- ・ 〒425-0071 静岡県焼津市三ヶ名 1550 番地

公式サイト

- ・ http://www.city.yaizu.shizuoka.jp/gyosei/gyosei_sub_rekimin.htm

設立主体

- ・ 焼津市

運営主体

- ・ 焼津市教育委員会

設立目的

- ・ 先人が築き、伝え残してきた行事、歴史民俗資料などの貴重な文化遺産の保存・継承に努め、これらの積極的な活用を図る。

展示概要

- ・ 常設展示は、「焼津の歴史と風土」テーマに、考古・歴史・民俗資料を中心に展示。
- ・ 特別コーナーとして、「小泉八雲コーナー」、「第五福龍丸コーナー」を設ける。

活動概要

- ・ 特別展、企画展、講演会、郷土学習公開講座、映画会、体験教室などの教育普及・展示活動。
文化財の保護、顕彰・史跡巡り・調査研究活動

延床面積

- ・ 964 m²

全職員数

- ・ 8人

年間運営費

- ・ 57,782,000円(2004年度)

総資料点数

- ・ 約7,500点、約2400箱

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：焼津市歴史民俗資料館友の会

活動目的・経緯

- ・ 資料館の活動とその発展に寄与することを目的とし、その内容は会誌の発行、総会の開催、講演会の開催、館外への研修、資料館主催企画展などの受付監視業務。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 93名（2005年4月現在）
- ・ 男性： 33名、女性：60名
- ・ 平均年齢 不明 ：男性 不明 、女性 不明

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤 1名・その他（ 0 ） 1 名

活動の種類

- ・ ①展覧会の受付・監視、②資料館各種事業への協力。

活動その他

- ・ 年会費 1,000 円。

関連する出版物

- ・ やきつべ

関連するHP

- ・ なし

館外組織（NPO等）との連携

- ・ なし

活動個別シート ①展覧会の受付・監視

◇活動開始年

- ・ 1986年

◇活動人数

- ・ 93人(2005年)

◇活動内容

- ・ 展覧会の受付・監視。

◇活動日

- ・ 展覧会実施日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 焼津市より委託金150,000円・友の会会費1人1,000円
- ・ 2005年度予算額336,042円
- ・ ボランティア室、備品無し

◇運営(シフト 等)

- ・ 1日を2~3分割して依頼。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 選考、人数制限、任期、時期、広報は特に無し。
- ・ 募集は特にしていないが、入会したい人が直接連絡してくる。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア参加者に交通費の500円を支給。

◇評価

- ・ 資料館活動に貢献してもらい、大変助かっている。

◇課題と展望

- ・ ボランティアの参加者が減少している。
- ・ ボランティアに参加する人が限定している。

◇その他

- ・

活動個別シート ②資料館各種事業への協力

◇活動開始年

- ・ 1986年

◇活動人数

- ・ 12名(2004年)

◇活動内容

- ・ 講演会・映画会等資料館事業への協力。
- ・ 子供映画会、工作教室。

◇活動日

- ・ 資料館事業の実施日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 焼津市より委託金150,000円・友の会会費1人1,000円。
- ・ 2005年度予算額336,042円。
- ・ ボランティア室、備品無し。

◇運営(シフト 等)

- ・ 会員に事前通知し、希望日を申込んでもらう。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 選考、人数制限、任期、時期、広報は特に無し。
- ・ 募集は特にしていないが、入会したい人が直接連絡してくる。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア参加者に交通費の500円を支給。

◇評価

- ・ 資料館活動に貢献してもらい、大変助かっている。

◇課題と展望

- ・ ボランティアの参加者が減少している。
- ・ ボランティアに参加する人が限定している。

◇その他

- ・